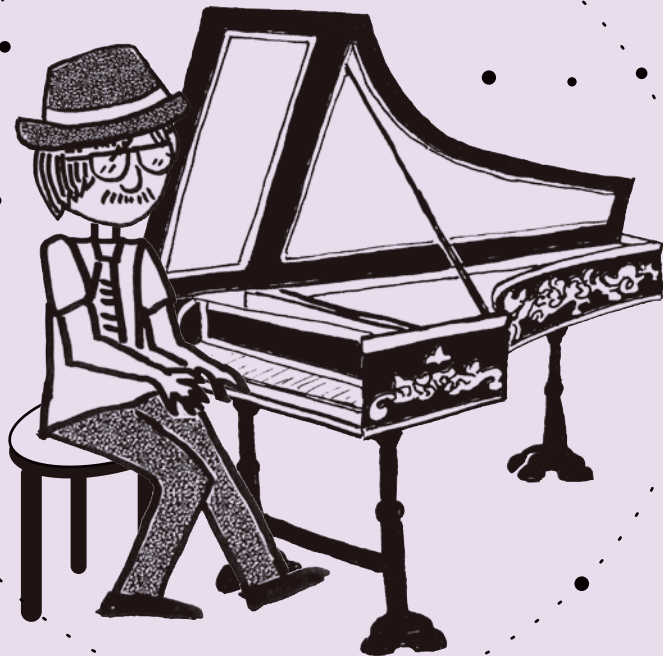


舞台上で音楽家は 何を考えるか



2018

10/12 (金) 19:30~

19:00開場/21:30終了予定

茅野市民館 マルチホール

講師 杉本周介

料金 無料 定員 100名

事前にお申し込みください

秋の夜長、古楽にふれる サロンへようこそ

チェンバロ奏者・杉本周介さんを案内役に、音を感じるサロンのような講座を開催します。

バッハらが活躍していた時代の音楽を中心にしたお話と演奏を、

ソプラノ歌手・原謡子さんとの共演を交えてお届けします。

楽器から奏でられる音を紡ぎ、至高の音楽を生み出そうとしてきた作曲家たちと、

その楽譜から想像をはばたかせ、それぞれの人生を通したものと昇華していく演奏家の表現。

表現する場である「舞台」にあがるまでの試行錯誤など、

コンサートとはひと味が違う音楽の感じ方を、一緒に楽しんでみませんか。

杉本周介/鍵盤楽器 幼少時から原村で育つ。高校卒業後アメリカ、スイス、オランダ等で作曲や鍵盤楽器を学ぶ。チェンバロ、クラヴィコード、オルガンなどを中心に幅広い鍵盤楽器を手がけている。古楽アンサンブル「コントラポント」「山梨バッハアカデミー・バロックオーケストラ」「東京古楽団」他、多数の古楽アンサンブルで通奏低音奏者を務める。映像関係の音楽製作など、作曲活動も行なっている。

原 謡子/ソプラノ 東京学芸大学芸術専攻卒。2012年より原村に在住。中世ルネサンスから古典派歌曲に至るレパートリーを、透明感のある独特の歌唱法で演奏している。2016年、2017年「はらむら古楽祭」において古楽アンサンブル「コントラポント」と共演したほか、数多くの古楽コンサートで演奏している。2017年CD冊子「雪下の水音」、2018年CD「The Scenery of Old Songs」をリリース。

【申込み・問合せ】 茅野市民館 TEL 0266-82-8222 長野県茅野市塚原一丁目1番1号 受付 9:00~20:00
休館日 毎週火曜日

「茅野市民館をサポートしませんか2018」は劇場に親しむさまざまな体験をお届けするプログラムです

主催 茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造 / 企画・制作 NPO 法人サポートC
助成 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
後援 茅野市、茅野市教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日报社、市民新聞グループ(7紙)、LCV



いいとこみっけ! Support

